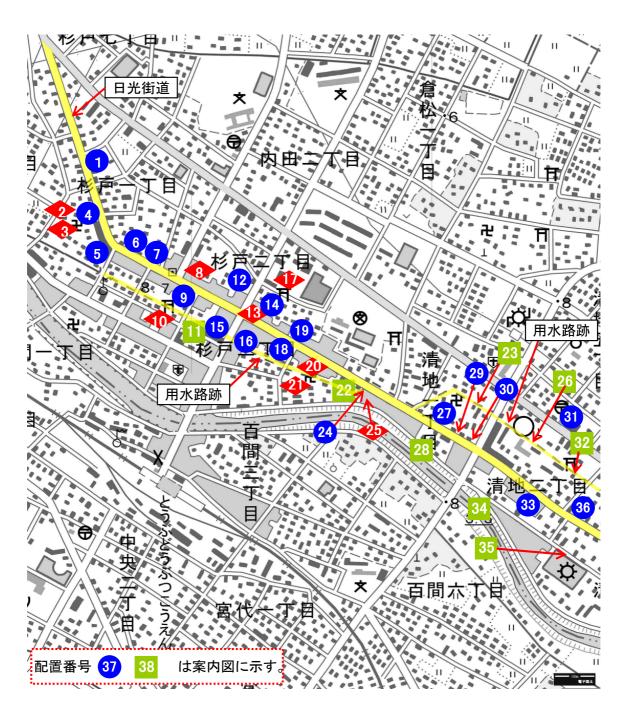
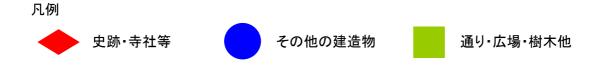




## 杉戸



配置図



## 杉戸



杉戸は日光街道5番目の宿場 町で、江戸後期に本陣1軒、脇 本陣2軒、旅籠が46軒あった。 国道4号線が平行して走って いるため比較的交通量が少く、 江戸の風情が残っている。

住宅 宝性院 3 馬頭観音



街道の幸手寄りに位置する。 立派な門構えで、蔵2棟を有する大 きな旧家。屋根は寄せ棟である。



真言宗の寺院。 明治期に杉戸学校が同境内を利用 して設立された「杉戸学校跡」の表示 |沿いにあった。(住職による説明) がある。



日光街道の旅人を守護する観音像。 宝性院の中にあるが、以前は街道

住宅 住宅 住宅



玄関引き戸や雨戸など全て木製の まま使用されている。



街道沿いの蔵のある住宅。 1・2階共使われている格子が特徴。



宿の街道を北に向い歩くと、曲が り角の先にあり、瓦屋根と格子戸 の住宅、黒い蔵とその窓の分厚い 扉が目を引く。







